

平成 29 年 5 月 12 日

# 平成 28 年度事業報告

公益財団法人安達峰一郎記念財団

## 1. 事業運営全般

平成 28 年度のわが国経済は、各種経済政策の実施により、緩やかな回復基調から拡大に転じた。一方、当法人を巡る内外情勢は引き続き厳しい状況にあったが、公益性の観点を持しつつ、効率的な運営に努めた。広報、コミュニケーションを強化し、安達峰一郎の業績の理解浸透、国際的な人材の育成を柱に、事業を順次実施した。「安達峰一郎 日本のお外交官から世界の裁判官へ」の発刊、「動き出す！絵画」展等の効果もあり、平成 28 年度のお事業運営は、厳しい財政事情のもと、概ね所期の目標を達成することができた。

## 2. 事業展開

### (1) 安達峰一郎の業績の普及浸透

- ・安達峰一郎の遺品、記念品等の展示による業績の普及に努めた。
- ・パンフレット等の配布、インターネット上のホームページ等により法人活動を積極的に紹介し、理解浸透に努めた。
- ・山形大学安達峰一郎研究プロジェクトの推進を後援し、研究成果が「安達峰一郎 日本のお外交官から世界の裁判官へ」として書籍化するにあたり編集に協力した。
- ・和歌山県立近代美術館学芸員の協力を得て、引き続き、当法人所蔵の未公開の美術品を可視化する作業を行った。なお、東京ステーションギャラリー、読売新聞社ほかが主催の「動き出す！絵画」展（平成 28 年 9 月～29 年 3 月）に和歌山県立近代美術館の要請により、所蔵美術品の一部を出展した。
- ・山形大学安達峰一郎研究資料室と安達峰一郎が駐仏大使時代の書簡の翻訳、整理の共同事業を開始した。

### (2) 遺品、資料等の調査

- ・新宿区須賀町の Quraz 倉庫（6.35 坪）に収蔵している遺品、資料等の保存資料のうち書籍類などのリストアップを継続した。また、所蔵資料の PDF（電子ファイル）化が大幅に進展した。その結果をリストにしたものを直ちにホームページ上にアップし、研究者の調査に有効な資料として提供した。
- ・すでにリストアップされながら、有効活用しにくい状態で保存されている資料を全て PDF 化する作業を行った。

### 3. 奨学諸制度

#### (1) 安達峰一郎記念賞（第 49 回）

・選考委員会

[平成 28 年 9 月 21 日 12 : 00 ~ 14 : 00 ホテルグランドパレス亀の間]

平成 28 年度の安達峰一郎記念賞については下記の受賞者に対し、2 名からの推薦があった。松井芳郎、奥脇直也、柳原正治、薬師寺公夫各顧問による厳正審査の結果をもとに、受賞者を下記のとおり決定した。

早稲田大学法学学術院教授 萬歳 寛之 氏

研究業績 『国際違法責任の研究—国家責任論の基本問題—』

・贈賞式

[平成 28 年 10 月 31 日 12 : 00 ~ 14 : 30 ホテルグランドパレス牡丹・菖蒲の間]

安達峰一郎記念賞賞状と記念メダル(銀製)ならびに副賞 60 万円を授与した。

#### (2) 安達峰一郎国際法奨学生（第 52 回）

・選考委員会

[平成 28 年 4 月 18 日 12 : 00 ~ 14 : 00 ホテルグランドパレス牡丹・菖蒲の間]

平成 28 年度は、国際法奨学生候補者として 8 名が推薦されたが、松井芳郎、奥脇直也、柳原正治、薬師寺公夫各顧問による審議の結果を踏まえ、次の 4 名が選定された。奨学生には平成 28 年 4 月から 29 年 3 月までの 1 年間、月額 4 万円の奨学金を支給した。

氏 名	所 属	研 究 テ ー マ
山下 涉	大阪大学大学院 国際公共政策研究科博士 後期課程 3 年	「国際刑事裁判所規程『侵略犯罪』における個人刑事責任追及の法理」
角 奈都子	東京大学大学院 法学政治学研究科修士課 程 1 年	規律管轄権行使における属地主義の歴史的 検討
阿部 紀恵	京都大学大学院 法学研究科法政理論専攻 修士課程 2 年	慣習法と法の一般原則との関係に関する一 考察
吉本 文	九州大学大学院 博士課程 2 年	EU の共通外交安全保障政策の研究 — 一貫性の観点から —

- ・奨学生の研究報告会

[平成 29 年 2 月 17 日 12:00~14:30 ホテルグランドパレス芙蓉の間]

奨学生 4 名により研究成果の発表が行われ、松井芳郎、奥脇直也、柳原正治、薬師寺公夫の各顧問より懇切な講評、指導があった。

### (3) 国際平和と国連思想の普及に関する事業

日本国際連合協会主催の下記事業に協賛し、当法人からそれぞれ優秀賞を贈った。

- ・第 55 回「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」(応募総数 966 点)

優秀賞 「今年、加盟国最多の 11 回目の安保理非常任理事国となった日本は、どのような取組を行うことで、世界の平和と安全に貢献すべきか。」

高橋 成碩 (福島大学附属中学校 2 年)

安達峰一郎記念財団賞賞状と記念の楯を授与した。

- ・第 63 回「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」(応募総数 231 点) 平成 28 年 10 月 24 日(月) (於 国連大学)

優秀賞 『昨年「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択されたが、今後、日本と国際社会はどのようにしてアジェンダの実施に取り組むべきか。』

中川 江理 (富山県立中央農業高等学校 2 年)

安達峰一郎記念財団賞賞状と記念の楯を授与した。

### (4) 安達峰一郎奨学賞

山形県山辺町(安達峰一郎の出身地)の中学校卒業生徒のうち、もっとも学業成績が顕著で、心身ともに健康な者に「安達峰一郎奨学賞」を贈呈した。

受賞者 峯田 あみ (山辺町立山辺中学校 3 年)

安達峰一郎奨学賞賞状と記念メダル(銅製)を授与した。

## 4. 関係機関との協力

- ・(一社) 日本外交協会、(公財) 日本国際連合協会、(一社) 国際法学会等の関係機関との連携を継続した。
- ・従来同様、(一社) 国際法協会日本支部ならびに東京大学国際法研究会に対し研究助成を行った。

## 5. 事業資金の調達

当法人の資金調達は、従来どおり長期国債を中心に、有価証券を加えて資産運用に努めた。資産別の資金調達は次のとおりで、平成 28 年度の普通預金利息を含めた調達金合計は 17,410,090 円であった。

### (1) 利付国債

国債の運用益として、年間 12,066,000 円の利息の支払いを受けた。

### (2) 投資有価証券

#### ①株式

中部電力の株式は、1 株 30 円、1,230,000 円の配当があった。

なお、東京電力の株式は無配であった。

#### ②投資信託

「短期豪ドル債オープン」の元本払戻金は年間 4,110,188 円であった。

### (3) 普通預金利息

3,902 円の支払いを受けた。

## 6. 平成 28 年度事業日程

平成 28 年	4 月 18 日	安達峰一郎記念国際法奨学生選考委員会 日本外交協会例会出席
	5 月 1 日	安達峰一郎記念賞候補募集
	5 月 10 日	監査
	5 月 17 日	国際法研究助成金交付
	5 月 20 日	理事会（平成 27 年度事業報告および決算）
	6 月 2 日	和歌山県立近代美術館等へ展示品貸出
	6 月 3 日	評議員会（平成 27 年度事業報告および決算）
	6 月 20 日	日本外交協会例会出席
	6 月 21 日	内閣府へ平成 27 年度事業報告等提出
	7 月 2 日	「安達峰一郎研究プロジェクト」シンポジウム出席
	7 月 26 日	HP 更新
	8 月 9 日	山形大学北川先生、新潟県立大学黒田先生来訪
	8 月 20 日	(公財)日本国際連合協会「集いの夕べ」出席
	9 月 12 日	日本外交協会例会出席
	9 月 17 日	「動き出す！絵画」展開幕 於) 東京ステーション ギャラリー内覧会出席
	9 月 21 日	安達峰一郎 記念賞選考委員会
	9 月 27 日	内閣府公益認定等委員会との懇談会出席

- 10月12日 日本外交協会例会出席  
 10月24日 国連協会「高校生の主張コンクール」出席  
 10月31日 安達峰一郎 記念賞贈賞式  
 11月16日 日本外交協会例会出席  
 12月12日 日本外交協会例会出席  
 平成29年 1月30日 日本外交協会例会出席  
 2月10日 日本外交協会例会出席  
 2月17日 安達峰一郎国際法奨学生研究報告会  
 3月6日 「安達峰一郎 日本の外交官から世界の裁判官へ」出版  
 記念シンポジウム出席  
 3月10日 山辺町「安達峰一郎奨学賞」受渡  
 3月17日 理事会・評議員会（平成29年度事業計画および予算、  
 周年事業計画）  
 3月21日 和歌山県立近代美術館等への貸出展示品受領  
 3月24日 理事会（周年事業準備委員会委員の選任）  
 3月28日 内閣府へ平成29年度事業計画および予算提出

### 役員名簿

顧問	理事	監事	評議員
松井芳郎	鈴木正貢	古澤安弘	森伊津子
奥脇直也	吉田正文		舩山龍二
柳原正治	平井迪郎		桑原茂樹
薬師寺公夫	折田正樹		山下泉
	石田照雄		結城章夫
	大岩直子		高橋節

平成29年3月31日現在